

展	<p>発問の工夫③</p>	<p>★ 曲のよさや面白さが伝わるように、どこをどのように気を付けて演奏したいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ア は、イ短調の沈んだ感じに合った伴奏にするために、低音を大きな音にしたい。和音は、こもったような音色で演奏したい。はじめの音を間違えないようにしたい。 ・イ は、ハ長調の楽しい感じに合った伴奏にするために、低音を小さな音にしたい。和音は、澄んだ明るい響きにしたい。 	<p>「雨のうた」のイ短調及びハ長調の和声の響き、音楽の縦と横の関係を聴き取り、それらの働きが生み出す曲のよさや面白さを感じ取って演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもっている。</p> <p>【創② ワークシート・行動観察】</p>
	<p>(3) グループでどのように演奏したいかについて話し合う。</p> <p>(4) グループで演奏の仕方を工夫する。</p>	<p>○話し合ったことは、ワークシートの楽譜に記入させた。</p> <p>○演奏の仕方を工夫しながら、更に気付いたことはワークシートの楽譜に書き加え、グループで工夫を重ねていくように助言した。</p>	
開	<p>発問の工夫③</p>	<p>★ 曲のよさや面白さが伝わるように、どこをどのように気を付けて演奏したいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ア は、イ短調の静かな感じを出すために、低音も和音も、休符を入れずに音を伸ばして演奏したい。速度は、少し遅くしたい。 ・イ は、楽しい感じを出すために、音を切ったように演奏したい。速度を少し速くしたい。1小節目はリズムが変わるところなので、四分音符のリズムを間違えないようにする。 	
	<p>(5) 成果発表をし、感想を伝え合う。</p>	<p>●どこをどのように演奏するかについて考えをもつことができない児童には、友達がワークシートに書いた内容を参考にさせた。</p> <p>○互いのグループの工夫点や良かったところを認め合い、自分たちの演奏に生かすことができるものは、次時の学習で参考にするように伝えた。</p> <p>○CDに合わせて演奏させることで、主な旋律や伴奏を聴き、イ短調とハ長調の和声の響きの違い感じ取りながら演奏ができるようにした。</p> <p>○ケチャの学習を振り返らせ、「雨のうた」も旋律と伴奏のリズムが同じにならないように工夫されていることを確認した。</p>	
／ ま と め	<p>「ケチャ」 振り返り</p>	<p>4 次時の学習を知る。</p>	<p>○本時のめあてを振り返らせ、次時への意欲を高めるようにした。</p>